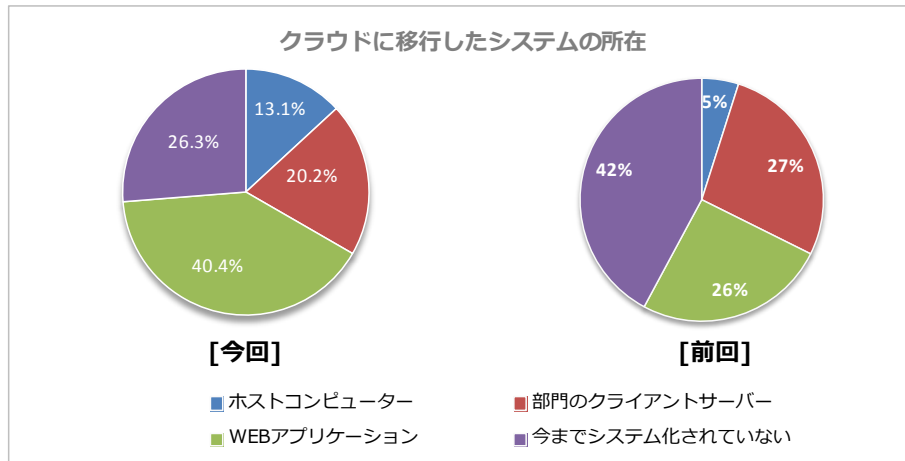


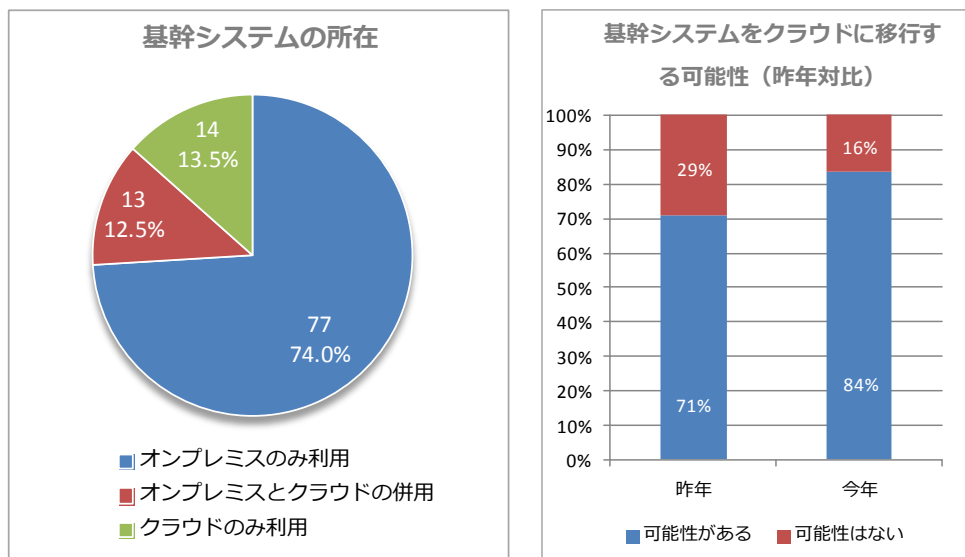
■既存システムのクラウド移行割合が昨年より 16 ポイントアップ

昨年の調査では「今までシステム化されていない」システムをクラウドで実装した割合が 42% あったのに対し、今回の調査では 26% という結果がでており、既存社内システムのクラウド移行が進んできていることが読み取れます。また、ホストコンピュータ上システムのクラウド移行は、昨年が 5% に対して今回は 13% と 2.6 倍に増えており、基幹システムに対してのクラウド利用の抵抗が徐々に弱まってきていることがわかります。



■ERP は未だオンプレミスでの利用が大半を占めるも、8 割の企業がクラウド利用を検討

クラウド活用企業が 9 割を占める中でも、ERP に関しては 74% の企業が「オンプレミスのみの利用」と回答しています。ERP のクラウド活用に関しては、「機能不足」や「運用コストの高さ」がネックとなっている傾向が調査で確認できており、完全なクラウド化のためには改善を行っていく必要があることが読み取れます。



一方で、「今後基幹システムをクラウドに移行する可能性」について質問したところ、84%もの企業から導入可能性があるという回答があり、課題点はあるもののクラウド移行自体の障壁は徐々に下がりつつあることが分かりました。

本調査により、クラウド活用自体の障壁が下がってきていると共に“ハイブリッドクラウド”のスタンダード化が徐々に起こりつつあることが推測されます。また、ERP に関しても改善の余地があるものの、クラウド利用の機運は更に高まっており、オンプレミスからの完全移行が進んでいることも分かりました。テラスカイでは、今後の更なるクラウド活用ニーズに対応するべく革新的なサービス開発を行っていき、クラウド業界自体への発展に貢献し続けることを目指します。

■調査所感（株式会社テラスカイ 代表取締役社長 佐藤 秀哉）

今回の調査結果から、企業のクラウド利用は着実に進んできており、よりエコな方向に進化してきていることが分かりました。具体的には、クラウドの利用は単体での部分最適から全体最適へと進んできています。また、企業のクラウド利用度合いは、複数クラウドの活用による適材適所に移行していくでしょう。一方、クラウド ERP は導入期を経て、本格的な成長期に入りつつあります。活用範囲の広がりも目に見え、まさに本流となる手応えを感じています。

<株式会社テラスカイについて>

テラスカイは、クラウドとシステム連携を核とするソフトウェア開発・コンサルティング事業等を行なっています。創業時よりセールスフォース・ドットコム社のコンサルティングパートナーとして、多くのお客様への導入サービスを行なってきました。その実績により培ったノウハウを基に、お客様の業務効率を高める革新的なソリューションを提供しています。テラスカイの詳細は <http://www.terrasky.co.jp/> にてご覧いただけます。

名 称：株式会社テラスカイ

設 立：2006年3月

資本金：2億4,730万円

代表者：代表取締役社長 佐藤 秀哉

※ 本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。